

地区別授業改善研修会では、「できる」実感をすべての子供たちに保障し、運動・スポーツ好きを育てる体育授業が展開されました。



試行錯誤をしながら、スタートのタイミングともらう手の位置を見付けます。



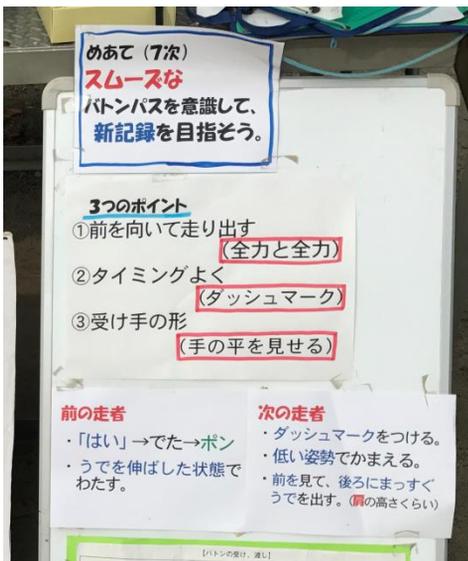
友達と相談しながら、楽しいコースづくりをします。



主運動につながる効果的な準備運動を行います。



三秒間走では、自分のスピードに合ったスタート地点を決めて、素早い動きを身に付けます。



学習内容を明確にし、教えるべき内容は、しっかり教えたうえで、それらを活用する場面を設定します。



課題解決に向けて、話し合いをします。



ポイント1 校内で、授業改善のポイントを共有しましょう

授業改善のポイント

児童の実態と学校環境に応じて、次の点を参考に、学校全体で取組を進めましょう。

- 運動量を十分に確保すること。
- 学習内容や系統性が明確になっていること。
- 運動の苦手な児童も楽しめる授業になっていること。

体育指導資料ポスター

誰やかな体を育む体育授業の進め方

1・2年生用 かけっこ・リレーの学び方

○元気いっぱい、おもいきり体を動かそう。 ○友だちとなかよく、運動しよう。

見とおし きょうは、なにをやるのかな。
きょうは、●●ができるようにがんばるぞ。
めあて、ないよう、気をつけること

運動 おもいきり、体を動かそう。

やってみよう

じゅんびうんどろ

かけっこあそび
いろいろなかけっこ
ジャンケンすごろく
など
たのしいコースを
つくろう

いろいろなコースを走ってみよう

あこ

リレーあそび
おりかえしリレー
むかえタッチ、
ふりむきタッチ
せまりをまもって、
ひかよくリレーをしよう。

リレーをしよう

ふりむきタッチ
むかえタッチリレー

できたこと、わかったことはなにかな。
きょうは、●●ができるようになりました。
きょうは、●●がわかりました。

楽しかったこと、がんばったこと、友だちとなかよくできたこと、工夫したこと

岩手県教育委員会

運動の特性・楽しさ
※わかる・できる
スモールステップ・発達段階

課題の設定・共有
※課題意識・必要感

学習内容の精選
※教えることと考えさせること

運動量の確保
※学習従事以外の場면을短く
例：移動・待機等

共感的な人間関係
※教師が率先して師範
例：賞賛・励まし・ハイタッチ

学びの成果の確認
※めあてと評価の一致

資料 県南教育事務所実践校支援委員会作成

陸上運動系「走運動」指導の手引き・DVD

体育・保健体育授業における
陸上運動系「走運動」
指導の手引き

「できる」真感をすべての子供たちに保障し
運動・スポーツ好きを育てるために

岩手県教育委員会
平成28年3月

これらの資料は、各学校
に配付されています。
なお、ホームページからダ
ウンロードもできます。

岩手県教育委員会HP
※学校体育のページから
<http://www.pref.iwate.jp/sports/taiiku/46588/index.html>

技能を高めるために

- 主運動の動きづくりにつながる準備運動やセットメニューをつくりましょう。

※原則、単元を通じて毎時間行うことが効果的です。

- 運動学習場面での運動量を確保しましょう。

- ・ 短い時間で説明や指示をしましょう。
- ・ 集合を効果的に活用するとともに、その頻度を少なくしましょう。
- ・ 役割分担を明確にして、準備や後片付けの仕方を指導しましょう。



雰囲気の良い授業にするために

- 称賛・励まし・助言や補助などの肯定的な関わりができるようにしましょう。

- 拍手やガッツポーズ、ハイタッチなど個人や集団での肯定的な行動ができるようにしましょう。



教師の指導性を明確にするために

- 教えるべきことは、確実に教えましょう。
- それらを活用して考えさせる場面を設定しましょう。



※ 新学習指導要領が告示されました。その趣旨に即した指導を展開するために、改めて児童の発達段階や系統性を考慮し、自校の体育におけるカリキュラムの見直しを図りましょう。

平成 29 年度地区別授業改善研修会 補助資料

岩手県教育委員会

【授業改善に向けて】

指導内容は、学習指導要領解説、学校体育実技指導資料（文部科学省 HP 掲載）、陸上運動系「走運動」指導の手引き（県教委）を確認するとともに、運動に対する意識を高めるよう児童の実態と学校環境に応じて決定すること

【今年度の重点】

- 1 新しい単元に入る前には次の点を確認すること
 - ・前年度の指導内容 ・児童の意識（好き・嫌い） ・指導資料の掲載内容
- 2 単位時間においては、運動を通じた試行錯誤の学習時間を十分に確保すること
 - ・指導者は、説明や指示の内容を整理して、短時間で行うよう配慮すること

平成 29 年度 学校教育指導指針より

《健やかな体を育む体育授業の進め方》

『1・2年生用 かけっこ・リレーの学び方』ポスターの活用

『3～6年生用 「陸上運動」の学び方』ポスターの活用

※「いわての授業づくり3つの視点」に準じた指導により、「確かな学び、豊かな学び」を実現しましょう。

【授業において大切にしたいこと】

■ よい授業のための基礎的条件

- 1 学習従事時間が確保されている。
- 2 学習の規律が確立されている。
- 3 学習の雰囲気明るく肯定的な関わりがみられる。

■ よい授業のための内容的条件

- 1 学習目標がはっきりしている。
- 2 教材・教具の工夫がみられる。
- 3 学習方法のスタイルは多様である。
- 4 教師の指導性が明確である。

適切な運動経験とは、児童が心身の発達特性に合った運動を実践することによって、運動の楽しさや喜びを味わうことである。

※ 児童一人一人の「運動学習場面」が 50%以上になるように授業を構成しましょう。

※ 移動、待機等の「マネジメント場面」は 20%以内にしましょう。

子供の体力向上指導者の手引きより